

# 愛媛県伊予郡松前町出作方言の 比喩語について

西村 浩子

## はじめに

### 1、調査対象地

愛媛県伊予郡松前町は松山市の中心部から南西10キロ程の所にあり、一万余世帯、人口三万人余りの町である。松山市と隣接しているため、市内との行き来は多い。出作は1992年11月現在、人口869人（男性402、女性467）288世帯である。この地域は調整区域になっているため、松山市からの距離に反して、世帯数はあまり増加しない。

### 2、調査年月日

1992年12月25日、1993年3月25日補定調査

### 3、話者

西村 洋三 昭和4年1月29日生（63歳）

### 4、調査者・調査場所

西村 浩子・西村洋三氏宅の居間

### 5、調査方法・調査時の様子

質問法によった。絵を示す質問には答えやすいようであったが、それ以外は、頭をひねることが多かった。調査者が他の方言形を例示すると、それによって思い出すということもあった。尚、西村貞美氏（昭和6年生、61歳）や松山市の中心部から西へ10キロ程の松山市高岡町に在住する三好サカエ氏（明治40年生・85歳）にも調査に協力いただいたので（10月17日調査）、参考として\*を付して例示する。比喩表現の得られなかった項目については、回答のあった事象を記している。×印は、回答の得られなかったものである。使用者層、頻度、新古、品位等については、特に回答のあったものについてのみ記している。

## I 自然現象

- |        |   |
|--------|---|
| 1 日照り雨 | <u>ヒヨリアメ</u><br>*ウブキ・・・タマゲタヨーナ雨（驚いたように急に風が吹いて降りだす雨） |
| 2 入道雲  | <u>ニュードークモ</u>                                      |
| 3 旋風   | <u>ツムジカゼ</u>  |
| 4 霜柱   | <u>シモバシラ</u>  |
| 5 つらら  | <u>ツララ</u>  |

- 6 北斗七星 ホクトヒチセイ  
 7 昴 ×  
 8 流れ星 ナガレボシ

II 動物

- 9 かわはぎ ハギ  
 10 ひらめ ヒラメ  
 11 ひきがえる クツビキ (「ビキ」は蛙のこと)  
 12 青大将 ヘビ・アオダイショウ  
 13 とかげ トカゲ  
 14 かまきり カマキリ  
 15 みずすまし ミズスマシ  
 16 きつつき キツツキ  
 17 せきれい セキレイ  
 18 ふくろう フルツク (鳴声を模した呼び名か。)

III 植物

- 19 馬鈴薯 ジャガイモ  
 20 とうもろこし トキビ  
 21 いんげん豆 インゲン \*トーロク (「豆緑」か。)  
 22 そら豆 ソラマメ (鞘に入っている状態)・コヤマメ (マメを乾燥させた状態のもの)  
 23 木くらげ × (聞いたことはある)  
 24 げんのしょうこ ゲンノシヨウコ \*ミコシグサ (名称理由は不明。)  
 25 どくだみ イヌノヘ (犬の尻) 切り口から出る液汁が非常に臭いことから。老年層、稀、下。  
ジュウヤク (十薬) 諸々の症状に効くということから。中・老年層、盛。  
 26 いたどり イタンボ \*イタドリ  
 27 からすうり カラスノマクラ (烏の枕) 枕型で烏ほどの大きさのものに丁度いいところから。  
 28 すみれ スミレ  
 29 春蘭 シュンラン  
 30 母子草 ハハコグサ  
 31 おむの木 × (聞いたことはあるが、近所では見たことがない。)

IV 性向

- 32 熱しやすく冷め アキヤス (飽きやす) <名>長続きせず、すぐに飽きる人。

やすい人

- 33 あわてん坊 キョロツク (きよろつく) <名> いつもきよろきよろしている人。キョロツク (きよろつく) <動>  
 \*キョロマツ (きよろまつ) <名> 同上。  
 \*イラレ . . . いらいらして、せっかちな人 <名>
- 34 動作の鈍い人 ドンクサイ (鈍くさい) <形> 要領が悪い  
 下ロイ (とろい。「ドンクサイ」を含む。) <形> 動作が遅く要領が悪い。  
 \*シゴト ニブイヒト (仕事、鈍い人)  
 \*グズ <名> (ぐず) 動作が鈍い人。
- 35 嘘つき センミツ (千三つ) <名> 千の中で三つ程しか本当のことを言わないことから。老年層、稀。  
 \*センミツツ (千三つ) <名>
- 36 ほらふき ギョーサンタラシニ ユー (仰山たらしに言う) 大げさなように言う。  
 ギョーサンタラシー (仰山たらしい) <形> 大げさだ。  
 \*オーブロシキ (大風呂敷) <名>
- 37 おしゃべり クチハッチョー (口八丁) <名> 老年層、盛。
- 38 冗談言い ×
- 39 口先だけの人 ホゴノイオ (ホゴの魚) <名> 「ホゴ」という魚は体に比して口が非常に大きく 頭部は口ばかりのように見える。  
 →口ばかり  
 \*アテナシ (あてなし) <名> 言うことがあてにならないことから。  
 \*アテニナラン (あてにならない) 言うことがあてにならない。
- 40 とんちんかんなことを言う人 アテツボ (あてっぼ) ・アテズツボ (あてずっぼ) <名>  
 行き当たりばつたりのことを言う人 (こと)
- 41 のらりくらり煮えきらない人 ミエタヤラ ワイタヤラ ヨーワカラン (煮えたやら沸いたやらようわからん) 煮えたのか沸いたのか、どちらかよくわからないことから。盛。  
 \*ハッキリセンヒト (はっきりせん人)
- 42 怒りっぽい人 オコリツボ (怒りっぼ) <名>
- 43 気むらな人 ×  
 \*キノ カワリヨイヒト (気の変わりよい) 気が変わりやす

- い人
- 44 泣き虫 × (「泣きはじめるといつまでも泣き止まない子供」という意味での回答は得られなかった。)  
\*すぐ泣く子・・・ナキムシ (泣き虫) ・ナキミソ (泣きみそ) <名>
- 45 おてんば娘 オテンバ (お転婆) <名>  
(\*男の子より余計に活発な女の子。良い意味ではない。)  
\*オトコ ミタイナ (男みたいな)
- 46 腕白坊主 ガキダイショー (ガキ大将) <名>  
\*ワルイ コ (悪い子)
- 47 出しゃばり ×  
\*デシャバリ (出しゃばり) <名>
- 48 どこへでも顔を  
出す人 ×  
\*デズキ (出好き) <名>  
\*イキズキ (行き好き) <名>
- 49 家にこもって外  
出しない人 デブショー (出無精) <名>  
\*ウチゴモリ (内籠り) <名>
- 50 小心者 キモガ チーサイ (肝が小さい)  
キモガ スワツテナイ (肝が座っていない)  
\*ヨワムシ (弱虫) <名>  
\*オジクソ (おじくそ) <名> 老年層、盛、下。
- 51 内弁慶 ウチボコリ (内誇り) <名>>
- 52 人づきあいをし  
ない人、社交性  
のない人 ×  
\*ツキアイセンヒト (付き合いせん人)
- 53 妻に対して頭の  
上がらない男 ×  
\*ヨメサンニ シカレテ (嫁さんに敷かれて) お嫁さんの尻に敷かれて。
- 54 けち サイフノヒモガ カタイ (財布の紐が堅い)  
\*ニギリ (握り) <名> 手の中にお金を握って離さないことから。老年層、稀。  
\*アノヒト ヨクナケン (あの人は欲だから)
- 55 欲張り ゴーツクバリ (強つく張り) <名>  
\*ヨク (欲) <名><形動>

V 食生活

- 56 大食漢 オーグイ (大食い) <名>  
\*タイショク (大食) <名>
- 57 ばたもち ポタモチ (ばたもち) <名>  
\*オハギ (おはぎ) <名>
- 58 砂糖味が薄い アマナイ (甘ない) <形> 甘くない。  
\*サトーガ キーテナイ (砂糖が効いてない)  
\*サトーヤノマエ トーツタグライ (砂糖屋の前通ったぐら  
い) 砂糖屋に入らず、その前を通った程度であるという表現。
- 59 塩味が薄い ミズッポイ (水っぼい) <形>  
\*シオガ タラン (塩が足らん)  
\*シオガ キーテナイ (塩が効いてない)
- 60 大酒飲み オーザケノミ (大酒飲み) <名>  
ザル (ざる) <名>  
スナジ (砂地) <名> 砂地にいくらでも水がしみ込むように  
いくらでも酒を飲むことから。 稀。  
\*ヨー ノム (よう飲む) たくさん飲む。
- 61 酒によってくだ  
をまく ×  
\*サケクセガ ワルイ (酒癖が悪い)
- 62 酒に酔って顔が  
赤くなる、その  
さま ×  
\*アコナツトル (赤なつとる) 赤くなっている。
- VI 動作・様態
- 63 恥ずかしくて顔  
が赤くなる、そ  
のさま カオカラ ヒーガデル (顔から火が出る) 自分のことに対し  
て使う。  
\*カオガ アコナル (顔が赤なる)  
\*ハニカム (はにかむ) <動>
- 64 どしゃぶりの雨 ドシャブリ (どしゃぶり) <名>
- 65 ずぶ濡れ・びしょ  
濡れになる、そ  
のさま ズブヌレ (ずぶ濡れ) <名>  
ビショヌレ (びしょ濡れ) <名>  
\*ビショクレ (びしょくれ) <名>  
\*ビショ (びしょ) <名>
- 66 服装がだらしな  
いさま ビンダレ (びんだれ) <名>
- 67 髭がのび放題な  
さま ブショーヒゲ (不精髭) <名>

- 68 厚化粧をしている人 アツゲ<sup>ア</sup>ショー (厚化粧) <名>  
\*カベヌリ (壁塗り) <名> 壁を塗るように白く塗っていることから。
- 69 背丈の高い人 ノッポ<名>  
ジョーモン (丈者) <名> 一間 (約180センチ) よりも長く、二間よりは短い「丈」という単位から、一丈は約3メートル。 稀、大工用語か。
- 70 出びたい デボチン (でぼちん) <名>
- 71 汗がひたいから流れ落ちる ×  
\*タキノヨ<sup>ニ</sup> アセガ<sup>ア</sup>デタ (滝のように汗が出た)
- 72 目を丸くする ビックリギョ<sup>ア</sup>テン (スル) <名(動)> (びっくり仰天する) 天を仰ぐほどびっくりする。  
メー ムグ (目、むぐ) 驚いたときには目蓋が大きく開くことから。 中・老年層、盛。  
メノタマガ コロゲ<sup>ア</sup>デル (目の玉が転げる) 驚いた時に非常に大きく目を開くことから。 中・老年層。  
メーガ トビ<sup>ア</sup>デルホド タカイ (目が飛び出るほど高い) 同上。 値段に対して使われる。 中・老年層。
- 73 口をとがらす クチオ トンガラカス (口をとんがらす)  
\*カオ フクラマシテ (顔膨らまして)  
\*カオニ ツノガ ハエトル (顔に角が生えとる)  
\*カオニ ツノ ハヤシトル (顔に角生やしとる)
- 74 焦げ臭いにおい コゲ<sup>ア</sup>サイ (焦げ臭い) <形>
- 75 遠回り (をす) マワリミチスル (回り道する) <動>
- 76 末っ子 オトンボ (おとんぼ) <名> (聞いたことがある)
- 77 一生懸命頑張る ギバル (ぎ張る) <動>  
ガンバル (頑張る) <動>  
ハギシリカンデ ヤル (歯軋り噛んでやる)  
\*セー ダス (精出す)

## Ⅶ おわりに

今回得られた少数の比喩語から、当方言の比喩表現の造語法やその語構成の特徴・傾向を述べることは困難なように思われる。ただ、身近な動植物や、生活に関連あるものに譬えたものとして、いくつかの語形が見出だされた。これらから拡大して考えるならば、その造語発想は、生活上の身近な物に譬えることが多かったと推測される。

(にしむら ひろこ 松山東雲女子大学)